

2006年
10月15日
No.6

さざなみ

〒520-0043
大津市中央1丁目5-25
小堀マンション2030号室
さざなみネット
(全国金融一般労働組合滋賀支部)
TEL・FAX 077-522-7868

地銀連から「金融労連の旗」贈呈される たたかいの象徴として事務所に掲示

地銀連第64回臨時全国大会が、9月16日東京「全共連ビル」で開催され、各単組の代議員など28人が出席しました。全国金融一般労働組合からは、鈴木委員長・山崎書記長・浦谷執行委員が出席しました。

谷中央執行委員長の地銀連の歴史を振り返った挨拶の後、本部経過報告、単組報告、金融3単産合同に関するものを中心とする執行部提案が行われ、活発な質疑・討論の結果、全会一致で可決されました。

金融労連

全国金融一般労働組合

谷委員長から各単組に金融3単産の合同組織である「金融労連の旗」が贈呈されました。浦谷執行委員が全国金融一般労働組合を代表して旗を受け取りました。手渡された真新しい組合旗は、今後のたたかいの象徴として10月2日の執行委員会で事務所に掲げました。



滋賀県母親大会が開かれる 「子どもたちに笑顔と平和を」

第52回滋賀県母親大会が去る1日、滋賀県野洲市の北野小などで開かれ、全県から1100人が集まりました。全国金融一般労働組合から4人が参加し、子育てや教育、福祉などについて意見を交わしました。

全体会では、幼児教育専門家の熊丸みつ子さんが「子どもたちに笑顔と平和を」と題して記念講演をしました。熊丸さんは子育てについて「小さい子は親に抱かれようとして夜泣きする。その時々でやるべきことをきちんとやって大きくなっている」とした上で「親がいらいらするのは、子どもが順調に育っている証拠」とユーモアを交えて話しました。

「とてもあたたかい気持ちになりました。ほしくて、

ほしくて授かった子なのに、怒ってばかり・・・と反省の毎日。これからも怒り笑いながら子育てしていきたいと思います」「子育てこれでいいんだあ～。頑張り過ぎなくてもちゃんと成長していってくれるんだあ。なぜか悩む日々が続いていたので、エネルギー・パワーをいただきました」など多くの感動が寄せられました。

来る22日(日)に開かれる湖北母親大会(長浜市「臨湖」大ホール)で、午後1時30分から、熊丸みつ子さんが講演されます。まだお聞きでない方は、誘い合って参加しましょう。



金融労連全国大会

発言(要旨)

(りゅうぎんビジネスサービ

労働組合 新垣修さん)

組合の結成は10年前です。それまでは嘱託で雇用の継続が不安定であり、残業は毎月100時間にもなることがありました。組合をつくらなと思い、電話や図書館で調べ、だれでも組合をつくれること、組合をつくることは法律に守られていることなどを知り、40人で結成しました。

嘱託職員から正社員にすること、職員の増員や退職金を要求しました。それまで退職金は1万円の記念品しかなく、40年勤続で1000万円を要求しましたが、340万円しか取れませんでした。経験や知識不足を痛感し、県労連に加入しました。琉球銀行への公的資金導入を契機にアウトソーシングがはじまりましたが、県労連の力も借りてたまたた結果、半分にとどめられ、余剰人員ができ残業がなくなりました。その中で、県労連を通じて地銀連を知り、加盟し現在に至っています。

合同によりこれだけ多くの仲間になるということはものすごいことで励みになります。沖縄から北海道までの銀行にビジネスサービという子会社があります。組合のないうビジネスサービを組織化し、さらに大きな飛躍ができるようにがんばります。

